要　望　書

令和４年７月

福井県あわら市議会・石川県加賀市議会

加賀市議会・あわら市議会は、平成27年２月に、友好交流議員連盟を設立し、お互い県境の市、また、温泉を有する観光都市としてこれまで協力し活動を行っており、その一端としまして、毎年、両市議会の合同要望活動を実施しております。

つきましては、令和５年度の国の予算編成及び施策の展開に当たり、地方の声を十分に反映していただき、別記案件の早期実現につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

令和４年　７月１９日

あわら市議会議長　　山 田　重 喜

加賀市議会議長　　稲 垣　清 也

北陸新幹線の早期完成について

新幹線開業は、平成２７年３月の北陸新幹線長野・金沢間開業をみても分かるとおり、全国から注目が集まり、多くの観光客が訪れるなど、新たな人の流れが生まれ、地域経済に大きな効果をもたらします。

加賀・あわら温泉郷を抱える石川県加賀市及び福井県あわら市では、金沢からの二次交通の充実やＰＲ活動を通した誘客推進に努めているところであり、新幹線延伸により、「ひと・もの」の流れが円滑になり、地域活性化に大きく寄与するものと期待しております。

北陸新幹線は、高速交通体系の柱として日本海側都市の均衡ある発展に必要不可欠なものであり、地方創生やインバウンド推進など沿線地域の発展を図る上で、極めて大きな効果をもたらすものであります。加えて、大阪まで延伸することにより、関西圏をはじめ、あらゆる方面からの人の流れが拡大するとともに、多くの需要が見込まれ、経済波及効果や収支改善効果は極めて大きいものと予想されます。

また、災害に強い強靭な国土づくりがこれまで以上に求められており、北陸新幹線開業により、今後は、太平洋側と日本海側が相互に支え合う仕組みが構築されることとなります。

しかしながら、金沢・敦賀間については、工期が１年遅延され、事業費も増嵩されましたことは、開業にむけたまちづくりを進めてきた沿線自治体にとっては大変残念な思いであります。

つきましては、長年にわたる沿線住民の悲願である北陸新幹線の一日も早い全線開通が実現されるよう、下記の事項を強く要望します。

記

1　金沢・敦賀間について、より一層のコスト縮減を図りながら、令和５年度末までの開業を確実に実現すること。

2　敦賀・新大阪間については、環境アセスメントを沿線地域の意見を踏まえながら丁寧かつ迅速に進め、早急に安定的な財源を確保し、令和５年度当初に着工すること。併せて令和12年度末頃までに大阪までの全線開業を実現すること。

3　新幹線開業に向けた新駅周辺での駅前広場や道路等の施設の整備に関し、特段の支援・配慮を行うこと。また、開業に向けたまちづくりや観光など様々な取組みに対し、工期遅延に伴う対策も含め、継続的に必要な支援を行うこと。

4　地方負担については、沿線の地方自治体に過度の負担が生じないよう、適切な財源措置を講じること。特に、建設費の増額分については、さらなる負担軽減が図られるよう対処すること。

国道８号の整備促進について

国道８号は、北陸と関西・中京圏を結ぶ重要な幹線道路であり、沿線地域住民の日常生活を支え、地域間交流を促進するとともに、災害時には緊急的、広域的な輸送機能を発揮するなど、防災面でも極めて重要な道路であります。

現在、石川県加賀市箱宮町から黒瀬町までの6.4kmの加賀拡幅については、これまでに4.2kmが４車線で供用され、現在、残る松山町から加茂町までの2.2kmの整備が鋭意進められております。一方、福井バイパスの福井県あわら市笹岡から坂井市丸岡町玄女までの5.4kmの区間は、平成30年９月に暫定２車線による供用が開始されましたが、引き続き早期の４車線化が待たれるところです。

また、国道８号石川・福井県境部は、大雨に伴う事前通行規制区間があるほか、平成30年2月には記録的な集中豪雪による通行止めが発生するなど課題が多い区間であります。

この区間については、平成31年度にトンネルの新設や道路拡幅による４車線化を事業化していただき、深く感謝を申し上げます。

この４車線化によって、雪に強い安定的な交通の確保や、事前通行規制区間の解消による信頼性の高い幹線道路ネットワークの確保を期待しているところであります。

今般、新型コロナウイルス感染症の拡大により、物流や観光等の地域経済活動へも大きな影響がある中、地域の経済活動を支えていくためにも、今後は１日も早い完成を目指し、平成30年12月に加賀市およびあわら市で設立した、「国道８号加賀・あわら間整備促進期成同盟会」とともに、整備促進をお願いしていきたいと考えるところであります。

つきましては、今後もこの道路の重要性・緊急性を認識されるとともに、地域の実情を踏まえ、次の事項について、特段の配慮がなされるよう、強く要望します。

記

1　平常時、災害時を問わず、安定的かつ安全・円滑に利用できる道路網の確保に向け、重要物流道路に指定された国道８号における以下の整備を推進させるために、長期・安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和５年度道路関係予算は所要額を増額確保し、地域の要望に応えること。

(1)　石川・福井県境部における牛ノ谷道路および金津道路の４車線化事業の令和４年度の確実な用地買収着手及び早期工事着手。

(2)　加賀拡幅および福井バイパスの、４車線化整備の早期完成。

2　近年頻発する集中豪雨や豪雪等の自然災害に対応するため、防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、５か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。また、災害などに対応する　地方整備局等の体制の充実・強化を進めること。

3　災害への備えおよび観光等の経済活動復興のため、人流・物流の活性化に向けた高規格道路の整備とダブルネットワークの構築を図ること。

4　今後ますます増大する構造物長寿命化・老朽化対策費用に対応するため、国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策を推進すること。

5　石川県および福井県の道路整備プログラムに基づく事業実施の支援を行うこと。

国道８号加賀・あわら間　４車線化整備促進事業　要望位置図